

B I Mサクション噴霧ユニット取扱説明書

[対象製品]

- BIMV8004SS303+TS303 サクション噴霧ユニット(250ml タンク付)
- BIMV80075SS303+TS303 サクション噴霧ユニット(250ml タンク付)
- BIMK6004SS303+TS303 サクション噴霧ユニット(250ml タンク付)
- BIMK60075SS303+TS303 サクション噴霧ユニット(250ml タンク付)
- BIMV8004SS303+TS303 サクション噴霧ユニット(500ml タンク付)
- BIMV80075SS303+TS303 サクション噴霧ユニット(500ml タンク付)
- BIMK6004SS303+TS303 サクション噴霧ユニット(500ml タンク付)
- BIMK60075SS303+TS303 サクション噴霧ユニット(500ml タンク付)

このたびは、お買い上げいただき、
誠にありがとうございます。
ご使用前に本紙をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。
本紙は大切に保管してください。

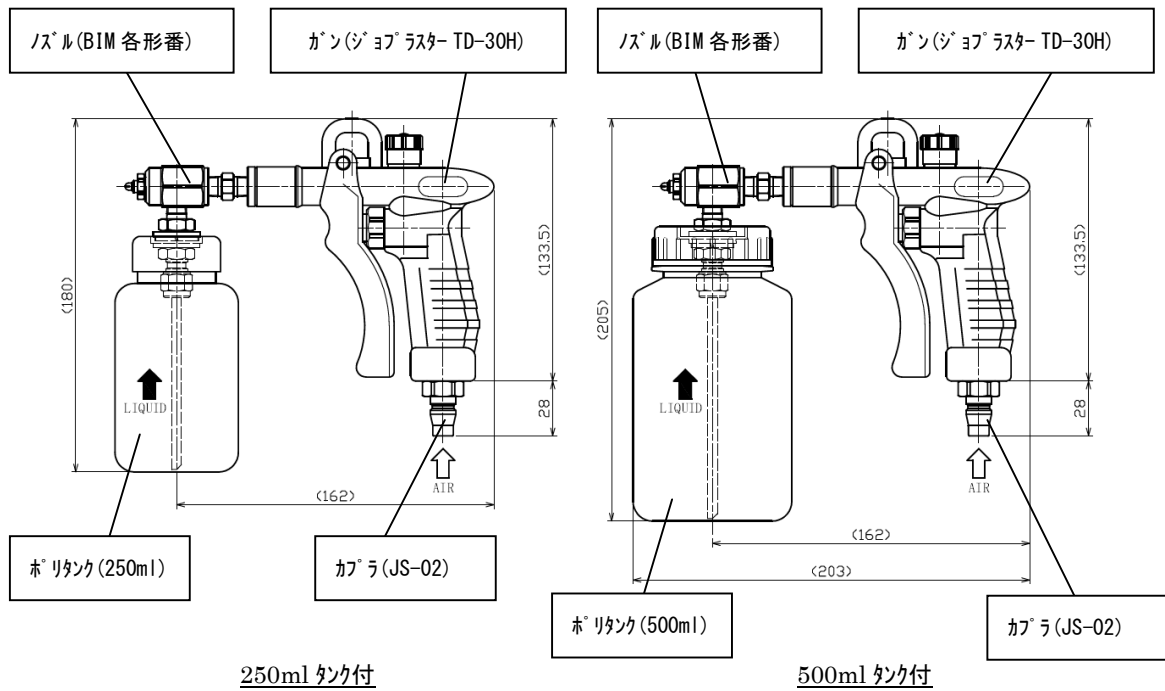
●目次

安全上のご注意	・・・P. 1
1. 各部の名称	・・・P. 1
2. 噴霧手順	・・・P. 2
3. ノズル性能曲線	・・・P. 3

安全上のご注意

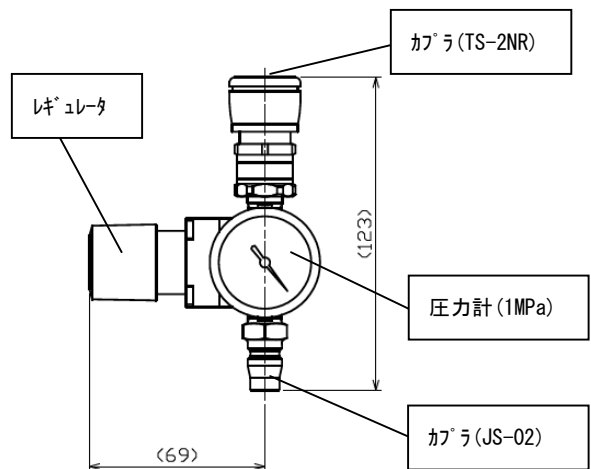
- ・人に直接霧をかけることはしないでください。
- ・環境温度 60℃以上での使用はおやめください。
- ・コンプレッサーエアは清浄なものをご使用ください。
- ・接液部の材質はPE(ポリタンク)、FEP(タンク内チューブ)、ステンレス(ノズル、継手類)です。
薬液等を使用する際は耐薬品性をご確認ください。

1. 各部の名称



250ml タンク付

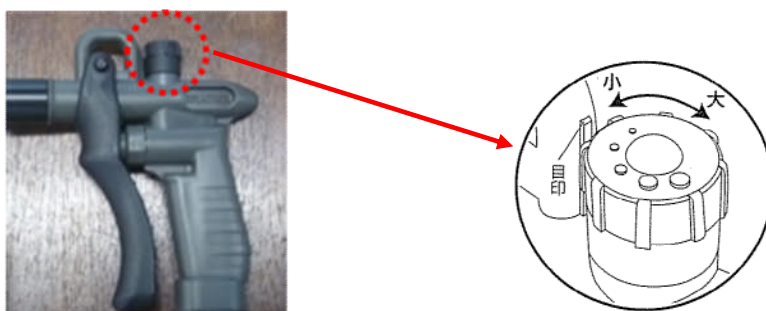
500ml タンク付



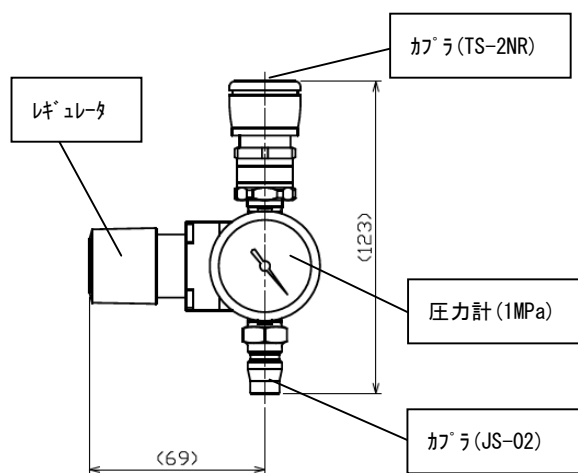
圧力計キット(オプション品)


2. 噴霧手順

- ① ポリタンクのキャップを押さえてポリタンク本体を回し、中のチューブが折れないように注意して取り外してください。
- ② ポリタンクに噴霧液を入れ、①と同様にキャップに取り付けてください。液を入れ過ぎるとキャップ上面の空気取込み穴(φ1)からこぼれる危険があるのでご注意ください。
- ③ ガンにコンプレッサーエアーを接続してください。
- ④ ガンのレバーを引き、噴霧を開始してください。
- ⑤ ノズル BIMV80075S と BIMK60075S ではガンのエア量調整つまみで大まかな流量調整が可能です。(ノズル BIMV8004S と BIMK6004S ではノズルの消費エア量が少ないため、つまみの位置を最小にしてもつまみの位置最大時と流量はほぼ変わりません。)




- ⑥ 細かな流量調整をしたい場合、圧力計キット(オプション品)をご使用ください。圧力計キットをガンに接続し、「3. ノズル性能曲線」を参考にレギュレータで圧力を調整してください。その際はガンのエア量調整つまみは最大にしてください。



- ご注意**  ・接続するエアは清浄なエアとしてください。清浄なエアでない場合、ノズルの目詰まりの原因になります。
- ・ポリタンクのキャップ上面には空気取込み用の穴(φ1)があいています。液がこぼれないよう、傾けすぎないようにしてください。
 - ・ノズル先端部分は非常に精密にできておりますので、ぶつけたりしないようにご注意ください。
 - ・無理な力が加わるとポリタンクが破損したり、ねじ込み部が外れたりします。取扱いにはご注意ください。
 - ・長期保管時は、ポリタンクを空にしてしばらくエアのみを噴き続け、ノズル内に噴霧液が残らないようにした後保管してください。

3. ノズル性能曲線

グラフの読み方

- ・噴霧量(ℓ/hr)はノズル1個の値です。
 - ・ 数値はレーザードップラー法(測定距離:300mm)によるザウター平均粒子径です。(μm)
 - ・各曲線の足元の数字は(-)は吸上高さ、(+)は重力高さを示します。(mm)
- 本ユニットでの吸上高さはノズル中心部からポリタンク液面までの距離になるので、グラフ中の-100の曲線をご参考ください。

